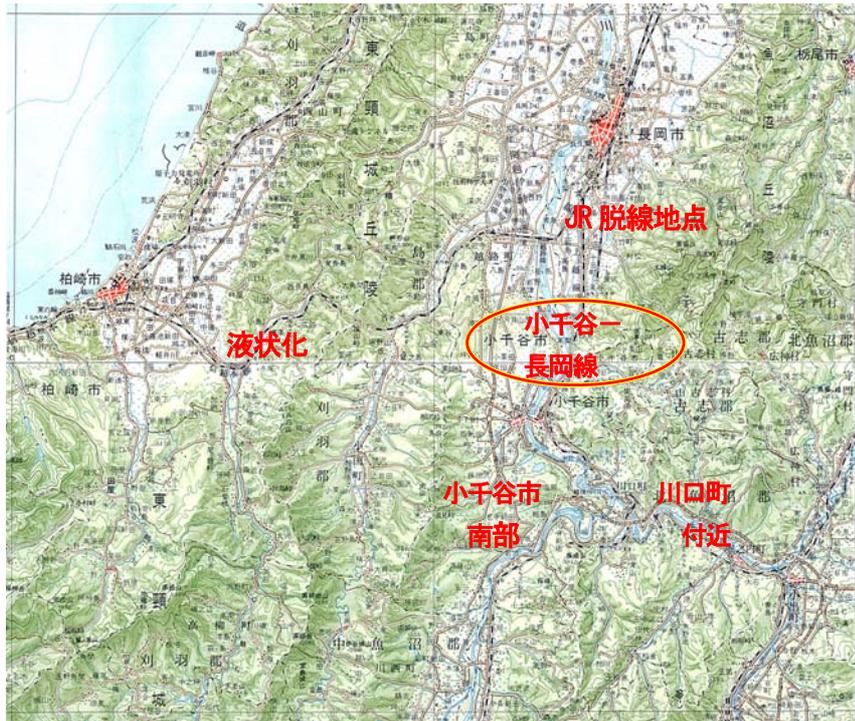
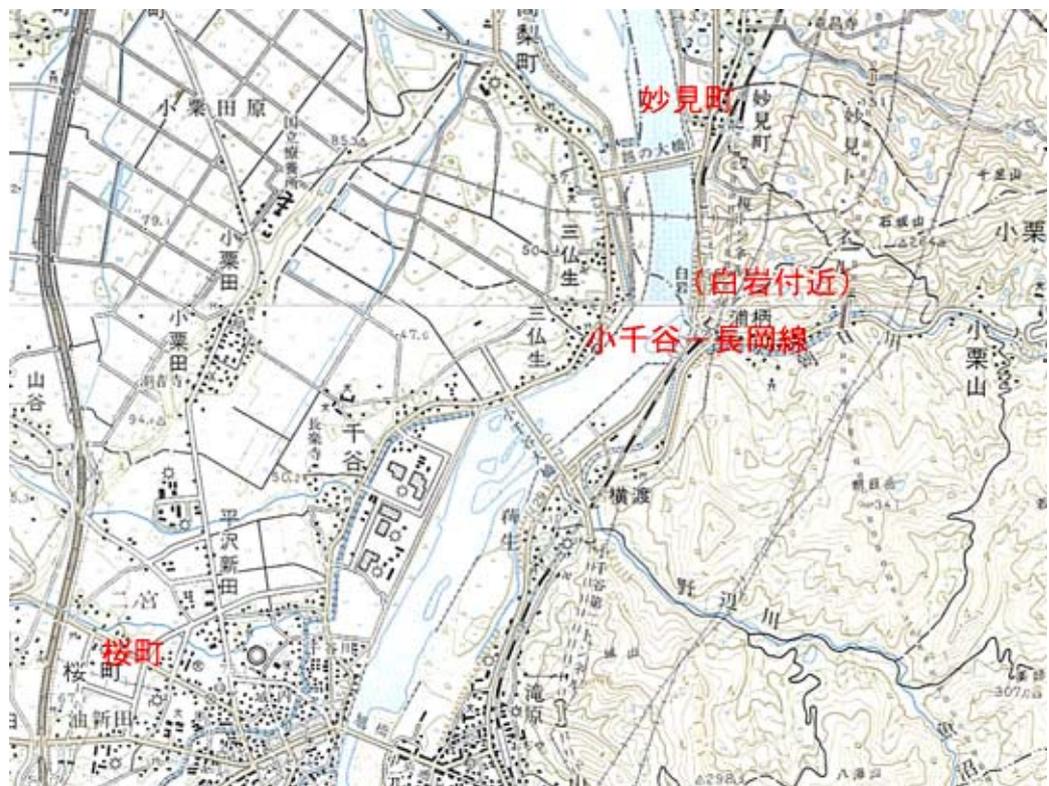


○ 小千谷ー長岡線（白岩付近）



国土地理院 1:200,000 地形図【長岡】【高田】使用



国土地理院 1:50,000 地形図【長岡】【小千谷】使用



JR上越線 榎トンネル下り線  
長岡側スノーシェッド  
(コンクリート柱)の被災状況。

柱ハンチ部のコンクリートが剥離している。  
スノーシェッド上方の切土斜面は、表層崩壊している。崩壊土砂は天端部分に堆積しており、鉄道と並走している県道(写真手前側)までは達していない。



スノーシェッド内部の状況。

側壁のはらみだし、ひび割れなどは認められるが、軌道には変状なし。



県道小千谷長岡線

信濃川に並走する県道。  
盛土部分が若干沈下、河川側へ移動、それに伴って道路面が沈下。



県道小千谷長岡線(JR上越線榎トンネル長岡側と並走) 橋梁の被災(長岡市妙見町)

片持梁工法のPC箱桁は大規模岩盤斜面崩壊に伴って橋脚とともに下方斜面へ。(写真左, 橋台側から撮影)

人物が立っている橋脚と桁は, 斜面崩壊したブロックから外れたために被災せず。(写真下)





JR上越線 榎トンネル小千谷側坑口状況。  
下り線(写真中央の線路)坑口は、上方斜面からの崩壊土砂により塞がれている。  
写真右側坑口は上り線坑口。矢印は層理面方向。

小千谷長岡線 妙見堰～妙見崩壊地 全景写真 撮影日：平成16年12月2日



妙見～浦柄で発生した斜面崩壊跡



信濃川と朝日川との合流地点付近から崩壊地を望む

